

平成23年度事業決算

事業費総計	(単位 ; 千円)	885,810
-------	-----------	---------

水産海洋研究センター事業費

職員費	330,052	
運営費	19,666	
水産研究施設整備費	622	県単
水産研究施設整備費	34,592	補助
図南丸整備点検事業	17,920	県単
移転整備費	403,499	

水産海洋研究費

本所	マチ類の資源評価・資源回復調査	848	県単
	生物情報収集調査	2,270	委託
	サンゴ礁海域の統合的沿岸管理技術の開発	275	県単
	オキナワモズク選抜育種試験	592	県単
	ヒトエグサ中性胞子を用いた養殖試験	48	県単
	海ブドウ養殖の安定生産技術開発	850	県単
	クビレオゴノリ養殖技術開発	230	県単
	養殖魚介藻類の感染症対策	2,178	県単
	特定海域海産生物放射能測定調査	1,067	委託
	タカセガイ育成礁を用いたサンゴ育成に関する予察的研究	1,626	委託
	沖合海域海洋観測調査	6,784	委託
	海洋動態解析事業	273	補助
	沖縄周辺の漁海況解析及び予測手法の開発	806	県単
	日本周辺高度回遊性魚類資源対策調査	11,761	委託
	メカジキ漁業推進技術開発	2,210	県単
	モズクの新規加工方法等に関する研究	275	県単
	ソディカ内臓等魚醤油開発	300	委託
	新漁業管理制度推進情報提供事業	1,912	補助
	海底地殻変動	732	委託
	自動記録式海洋観測システムを用いた海洋観測の実施及び検	206	委託
	漁獲情報収集管理事業	170	県単
支所	八重山海の魚類資源管理技術の確立	986	県単
	シャコガイの稚貝期飼育管理技術開発	818	県単
	ヒメジャコ養殖基盤実用化試験	150	県単
	大型ハタ類の採卵・種苗生産技術開発	2,281	県単

科学技術振興費等

本所	オキナワモズク選抜育種試験	3,093	県単、科学技術振興課
	クビレオゴノリの養殖技術開発	1,979	県単、科学技術振興課
	海ブドウ養殖用栄養剤の開発	1,990	県単、科学技術振興課
	ソディカのすり身等に関する研究	1,927	県単、科学技術振興課
	メカジキ立縄漁業導入事業	2,784	交付金、雇用労政課
	沖縄産海藻類の生産利用高度化研究	6,586	交付金、雇用労政課
石垣支所	種苗生産・養殖への地下浸透海水利用技術開発	2,429	県単、科学技術振興課

行政対応等事業費

本所	漁業管理対策事業	640	交付金、水産課
	養殖ハタ類の国際的産地形成推進事業	572	交付金、水産課
	養殖水産動物保健対策推進事業	4,780	交付金、水産課
	漁業取り締まり	256	交付金、水産課
	県産養殖魚の新たな養殖管理技術の開発	1,356	交付金、水産課
	浮き魚礁効果調査	1,550	県単、漁港漁場課
石垣支所	シャコガイ生産事業	3,359	県単、水産課
	ヤイトハタ生産事業	6,510	県単、水産課

[沿革]

大正 10年 (1921) 4月 沖縄県水産試験場設立、事務所を県庁内に置く
 昭和 2年 (1927) 11月 調査船初代「図南丸」100トン竣工
 3年 (1928) 3月 那覇市垣花町に庁舎新築
 19年 (1944) 12月 空襲により焼失
 23年 (1948) 7月 沖縄水産試験場として再出発、事務所を沖縄民政府内に置く
 25年 (1950) 4月 琉球水産研究所に改称
 27年 (1952) 3月 佐敷町馬天に庁舎新築移転
 32年 (1957) 5月 那覇市泊に庁舎新築移転
 35年 (1960) 5月 調査船第2代「図南丸」159トン竣工
 41年 (1966) 8月 調査船初代「くろしお」21トン竣工
 10月 石垣市に支場として八重山水産模範養殖場設置（日政援助）
 本場の研究室をこれまでの漁労・製造・増殖の3部門から資源調査が
 加わり4研究室となる。さらに庶務課が設置される
 45年 (1970) 1月 琉球水産研究所、同八重山支所に改称
 10月 琉球水産試験場、同八重山支場に改称
 47年 (1972) 4月 復帰に伴い沖縄県水産試験場及び同八重山支場に改称
 本場は1課4研究室体制から1課2室体制となる
 49年 (1974) 8月 糸満市に本場庁舎新築移転（国庫1/2）
 50年 (1975) 1月 調査船第3代「図南丸」216トン竣工
 55年 (1980) 3月 調査船第2代「くろしお」34トン竣工
 58年 (1983) 4月 本部町に栽培漁業センター（支場）開設
 63年 (1988) 4月 同センターとして独立
 平成 5年 (1993) 9月 八重山支場全面増改築開始
 7年 (1995) 3月 調査船第4代「図南丸」176トン竣工
 8年 (1996) 2月 調査船「くろしお」34トン廃船
 3月 八重山支場全面改築竣工
 13年 (2001) 4月 水産業改良普及所と統合
 17年 (2005) 4月 農林水産部より企画部に移り、水産業改良普及所と分離
 18年 (2006) 4月 沖縄県水産海洋研究センター、同石垣支所に改称
 本所は企画管理班、海洋資源・養殖班の2班体制となる

[施設]

		本所		支所	
敷地面積	(m ²)		19,551		23,622
本館	"	1階建	1,045	1階建	248
飼育実験棟	"	3棟	914	1棟	200
開放実験棟	"	1棟	233		
魚病実験棟	"	1棟	99		
研究棟	"			2棟	402
屋外実験池	"	29面	281	38面	1,733
屋内実験池	"	10面	222	35面	1,142
展示等	"			1階建	192
調査船	図南丸	176トン・1,200HP	平成 7年 (1995)	3月竣工	

[組 織]

沖縄県企画部…………科学技術振興課………… 沖縄県水産海洋研究センター (38人)

所長 ・・・企画管理班長 ・・庶務2人、農業技術補佐員1人 (本所29人)
 ・・・調査船団南丸13人
 ・・・海洋資源・養殖班長 研究員10人
 ・・・石垣支所長 庶務1人、研究員5人、農業技術補佐員2人、用務員1人 (支所10人)

[職 員]

(平成22年4月1日現在)

	本所			石垣支所	計
	所長	企画管理班	海洋資源・養殖班		
行政職		2		1	3
研究職	1	1	11	6	19
海事職		13			13
現業職		1		2	3
用務員				1	1
計	1	17	11	9	39

平成23年度職員名簿

本 所

所長	(技)	勝俣亜生	主任研究員	(技)	須藤裕介
企画管理班			研究員	"	松尾和彦
班長	(技)	杉山昭博	団南丸	"	上原匡人
主査	(事)	真保栄恵子	船長	(海)	外間実
主任	"	本永紀枝	機関長	"	中村彰
農業技術補佐員	(現)	濱川薰	通信長兼主任航海士	"	新垣新三
海洋資源・養殖班			主任航海士	"	上原英雄
班長	(技)	海老沢明彦	航海士	"	西銘清
研究主幹	"	玉城信	主任機関士	"	松川一志
		在職時死亡(2012/2/20)	"	"	新崎悟
主任研究員	(技)	久保弘文	機関士	"	喜屋武豊
"	"	平手康一	主任	"	大城勉
"	"	南洋一	"	"	豊見山彰彦
"	"	仲盛淳	"	"	吉田達美
"	"	太田格	"	"	桃原慧
"	"	山田真之	"	"	新垣昇

石垣支所

支所長	(技)	渡辺利明	研究員	〃	秋田雄一
主事	(事)	大原大輔	〃	〃	山内岬
主任研究員	(技)	木村基文	農業技術補佐員	(現)	吳屋秀夫
〃	〃	井上顕	〃	〃	仲本光男
研究員	〃	岸本和雄	用務員	(事)	照屋洋美

平成23年度職員異動（転入・転出）

再任用退職

西銘清（図南丸主任航海士）

新垣昇（図南丸主任）

転 出 (新所属)

島田和彦 水産課

玉城英信 栽培漁業センター

中村博幸 〃

知名真知子 八重山農林水産振興センター農林水産整備課

郡司昌和 県民生活課

転 入 (現所属)

勝俣亜生 (所長) 水産課から

久保弘文 (海洋資源・養殖班) 普及センターから

仲盛淳 (〃) 栽培漁業センターから

大原大輔 (石垣支所庶務) 八重山土木事務所から

新採用

山内岬 (石垣支所)

再 任 用

西銘清 (図南丸航海士) 再々任用

新垣昇 (図南丸主任) 〃